

ステアリング学習リモコン赤外線タイプ
トヨタ／ダイハツ車用
取り付け解説書



安全に正しくお使いいただくために

- 取り付け作業の前にこの「取り付け解説書」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
- この「取り付け解説書」の表示では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示をしています。その表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本製品は DC12V 車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの DC24V 車では使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス端子を外してください。ショートによる事故の原因となります。
- 車両に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、電気配線、タンク、ワイヤーなどの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意しておこなってください。パイプ類などの損傷により、火災や事故の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、制御不能や発火、事故の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグの動作を妨げる位置には絶対に本製品を取り付けたり配線をしないでください。エアバッグの動作を妨げる位置に取り付け・配線をすると、万一のとき、事故やケガの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となります。
- 本製品を分解したり改造したりしないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 正常に動作しない状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変なにおいがするなどの異常がおきた場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因となります。
- ドリルなどで穴あけ作業をする場合は、ゴーグルなどの目を保護するものを使用してください。破片などが目に入ったりしてケガや失明の原因となります。
- 接続コード類の配線は高温部を避けて行ってください。コード類の被服が溶けてショートし、事故・火災・感電の原因となります。特にエンジンルーム内での配線には注意してください。



注意

- 車両のネジを使用して本製品の取り付けやアースをとる場合は、ネジがゆるまないように確実に締めつけてください。ネジがゆるみ、事故や故障の原因となります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこり、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本製品に水やほこり、油煙が入り込みますと、発煙や発火、故障の原因となります。
- 直射日光や、ヒーターの熱風があたる場所などへの取り付けは避けてください。本製品の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。
- 取り付け解説書に記載された通りに配線を接続してください。正規の接続を行わないと、火災や故障の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付けるときは、車両メーカーに作業場の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動し、ケガや事故の原因となります。
- 車両のネジ部分やシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や火災、感電の原因となります。

もくじ

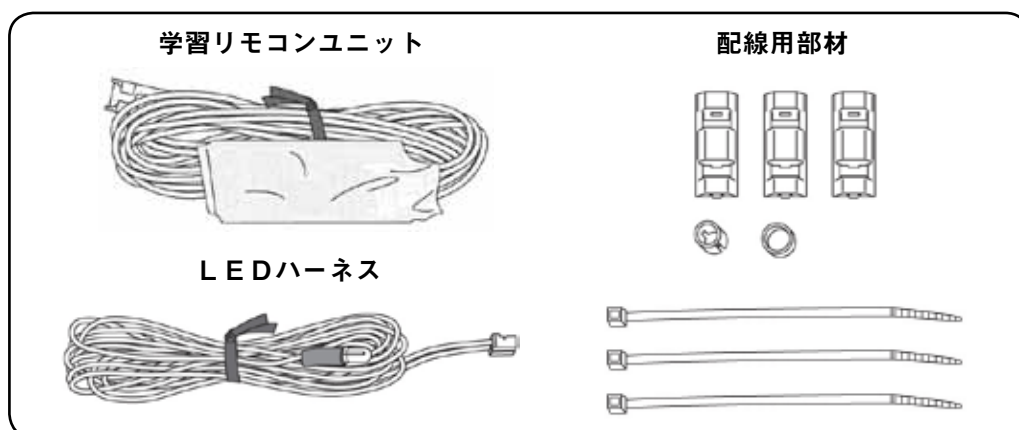
はじめに	4
梱包内容	4
各配線の説明	4
動作について	5
取り付けできる車両	5
取り付けに関する注意事項	5
取り付け方法	6
カーオーディオパネルを取り外す	6
カーナビゲーションを取り外す	6
コネクタを切り離す	6
ALCON本体を接続する	6
コネクタ図	7
LEDの設置位置は十分ご検討ください	12
設置後の確認	13
カーナビ／カーオーディオのリモコンを使用した設定方法	14
プリセットデータを使用した場合の設定方法	16
プリセットデータで設定されるボタン内容一覧	18
機能設定を行う	19
トラブルシューティング	20

はじめに

このたびは当社製品を御買い上げ頂きまことにありがとうございました。製品は全機能をテストした後に出荷させて頂いておりますが、万一不良品でありました場合は速やかに代替品と交換させていただきますので、ご購入いただきました販売店へご連絡ください。但し、お客様の過失による破損と判断した場合は修理費と送料を頂戴することがありますのでご了承願います。なお、製品保証については保証書に記載の内容となります

梱包内容

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 学習リモコンユニット | 1台 |
| 2. LEDハーネス | 1本 |
| 3. 取り付け解説書（本解説書） | 1部 |
| 4. 保証書（取り付け解説書に記載） | 1部 |
| 5. 配線用部材（ワンタッチコネクタなど） | 数個（製品により異なります） |



各配線の説明

ユニット本体からは5本の配線と、1つの赤外線LEDハーネス接続用コネクタが出ています。使用している電線はAWG22（約0.33SQ相当）です。添付品以外のワンタッチコネクタや配線接続用部材を使用する場合は適合電線をよくご確認ください。

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 黒 | (-) GND（車両アース） |
| 赤 | (+) +12V ACC 電源 |
| 茶 / 白 | (+) ステアリングスイッチ入力1 |
| 茶 / 黄 | (+) ステアリングスイッチ入力2（未使用の場合もあります） |
| 茶 / 黒 | (-) スイッチ用GND出力 |

※ LEDハーネス接続用コネクタには付属のLEDハーネスを接続します。

動作について

◇ユニットの動作モードは大きく分けて下記の2つになります

・学習モード（プリセット設定モード）

ユニットは、カーナビ等の赤外線リモコンを解析・記憶します。

取り付け後、最初に学習作業又はプリセット設定を行う必要があります

MEMO

- ステアリングスイッチの各ボタンに独立したコードを記憶できます。
- 社外製カーナビをご使用の方は、カーナビ付属のリモコンを学習させ、ステアリングスイッチでカーナビを操作することができます。
- プリセットデータを内蔵していますので、リモコンの付属しないカーナビをお使いの方も設定してお使いいただけます。「プリセットデータを使用した設定方法」頁をご覧ください。※リモコン使用不可機種を除く

・通常使用モード

車両のステアリング部についているオーディオ操作スイッチを押すと、赤外線LED部から学習させたりリモコン信号を発光させます。これによりステアリングスイッチを押した時、カーナビの赤外線リモコンのボタンを押した場合と同じ動作をカーナビにさせることができます。

取り付けできる車両

社外品のカーオーディオ／カーナビを取り付けられており、ステアリングスイッチの配線になにも取り付けられていない車両に取り付けることができます。ステアリングスイッチの配線が未接続になっていない場合、学習リモコンを取り付けると機器及び学習リモコンユニットの誤作動・破損の原因になりますので絶対にお止めください。

取り付けに関する注意事項

ユニットの取り付けは電気知識のある方が行ってください。取り付けに問題があると車両火災や損傷を招く恐れがありますので十分注意して取り付けてください。取り付けの際は事前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。当製品を取り付けることにより発生した損害に関して当方は一切責任を負いません。

また、赤外線発光LED部はお子様の手の届かない場所に取り付けてください。万が一お子様が口にくわえたりした場合、感電する危険があります。

本品はカーAVシステム制御専用です。その他の機器の制御に使用しないでください。

取り付け方法

トヨタ／ダイハツ車の場合、ステアリングスイッチ付き車では配線の接続先をオーディオ裏で行います。トヨタ車に本ユニットを取り付けると**MODE、SEEK+、SEEK-、VOL+、VOL-の5ボタン**と、グレードによって装備されている**VOICE、オンフック、オフフックの3ボタン**の**合計8ボタン**が使用可能となります。

1. カーオーディオパネルを取り外す

まずはカーオーディオ／カーナビゲーションの外周のパネルを取り外します。通常ははめ込みだけで固定されているので、手前に引くと外れますが車種によってはネジ止めされている場合もあります。外し方が判らない場合は無理をせずにディーラーへお尋ねください。

2. カーナビゲーションを取り外す

カーナビゲーションを取り外します。通常は4本程度のビスで固定されており、簡単に外す事が出来るようになっています。

3. コネクタを切り離す

カーナビゲーションに接続されているコネクタを外してください。その後、ALCONの接続先である20極コネクタ（乳白色）があることを確認してください。社外のオーディオ／カーナビを取り付けている場合は20極コネクタは未接続になっています。奥のほうや、上部にテープで固定されていることもありますので、見当たらない場合でもよく探してみてください。

4. ALCON本体を接続する

次ページにあるコネクタ図のピン位置へALCONの配線を接続します。線色については車種別対応表を参考にしてください。

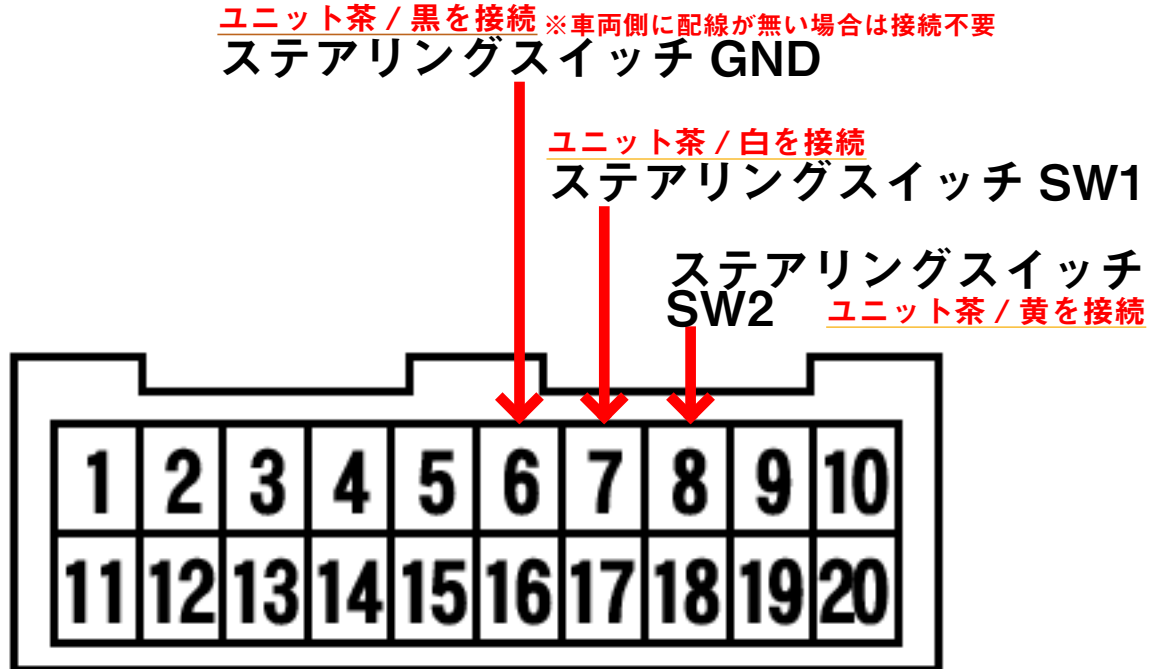
MEMO

- ※同じモデルでも線色が変更になっている可能性がありますので、線色が異なる場合はコネクタ図のピン位置を優先してください。
- ※車種別対応表に掲載の無い車種でも20極コネクタがあればALCONを取り付け可能ですので、コネクタ図のピン位置を参考に接続を行ってください。
- ※ご注意！添付のワンタッチコネクタ以外を使用される場合は、適合線径をよく確認してください。

トヨタ / ダイハツ 20極コネクタピン配置図

■オーディオコネクタが10極と6極の場合（殆どのトヨタ車）では下記のように20極コネクタへ接続します。

※オーディオコネクタを差し込み側から見た図です



※ACC電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続してください。

※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しない場合があります。動作確認の際はご注意ください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	7 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	8 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	6 番 ステアリングスイッチ GND

※車両側に配線が無い場合は接続不要

トヨタ / ダイハツ 5 極コネクタピン配置図

■現行 LA150・LA160 系ムーヴ・ムーヴカスタム等のステアリングリモコンコネクタが 5 極の場合では下記の様に接続します。

※コネクタを配線が出ている側から見た図です

ユニット茶 / 黄を接続

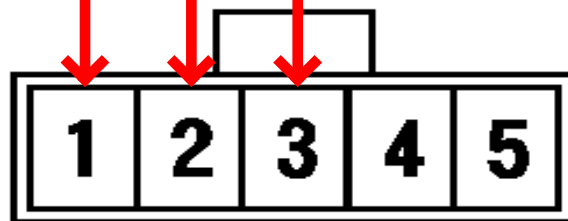
ステアリングスイッチ SW2

ユニット茶 / 白を接続

ステアリングスイッチ SW1

ユニット茶 / 黒を接続

ステアリングスイッチ GND



※ACC電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続してください。

※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しない場合があります。動作確認の際はご注意ください。

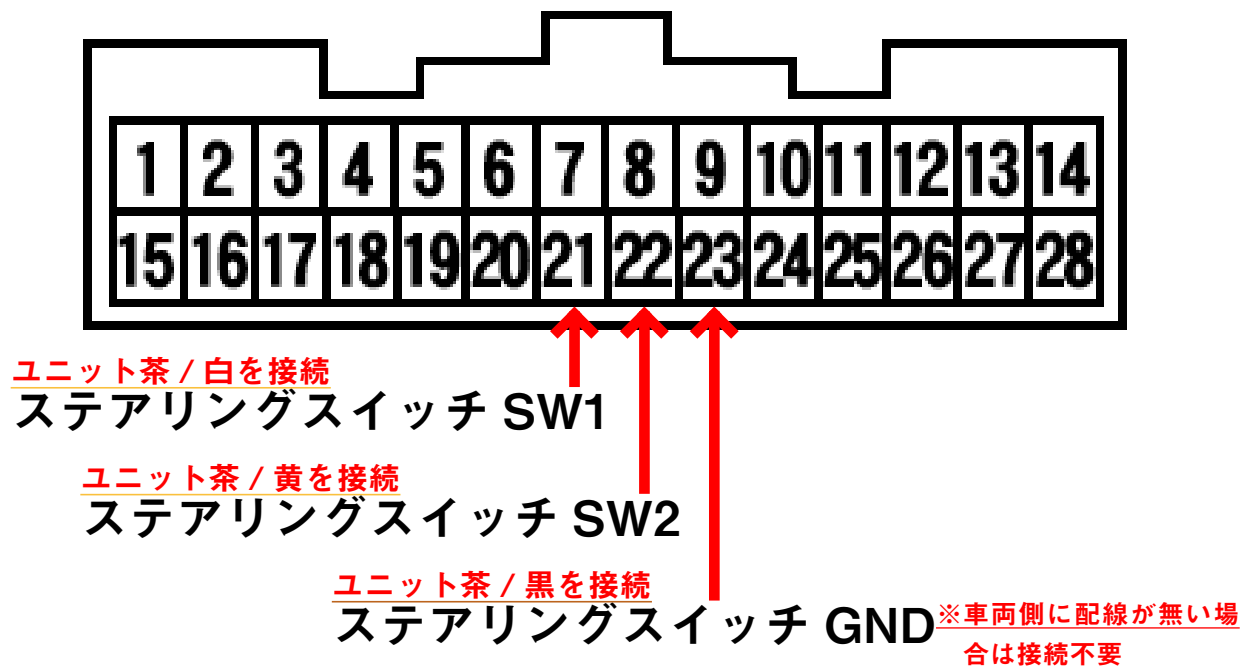
MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	2 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	1 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	3 番 ステアリングスイッチ GND

トヨタ28極コネクタピン配置図

- 28極コネクタ採用車（AQUA等）では下記のように接続します
- ※オーディオコネクタを差し込み側から見た図です



- ※ACC電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続してください。
- ※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。
- ※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しない場合があります。動作確認の際はご注意ください。

MEMO

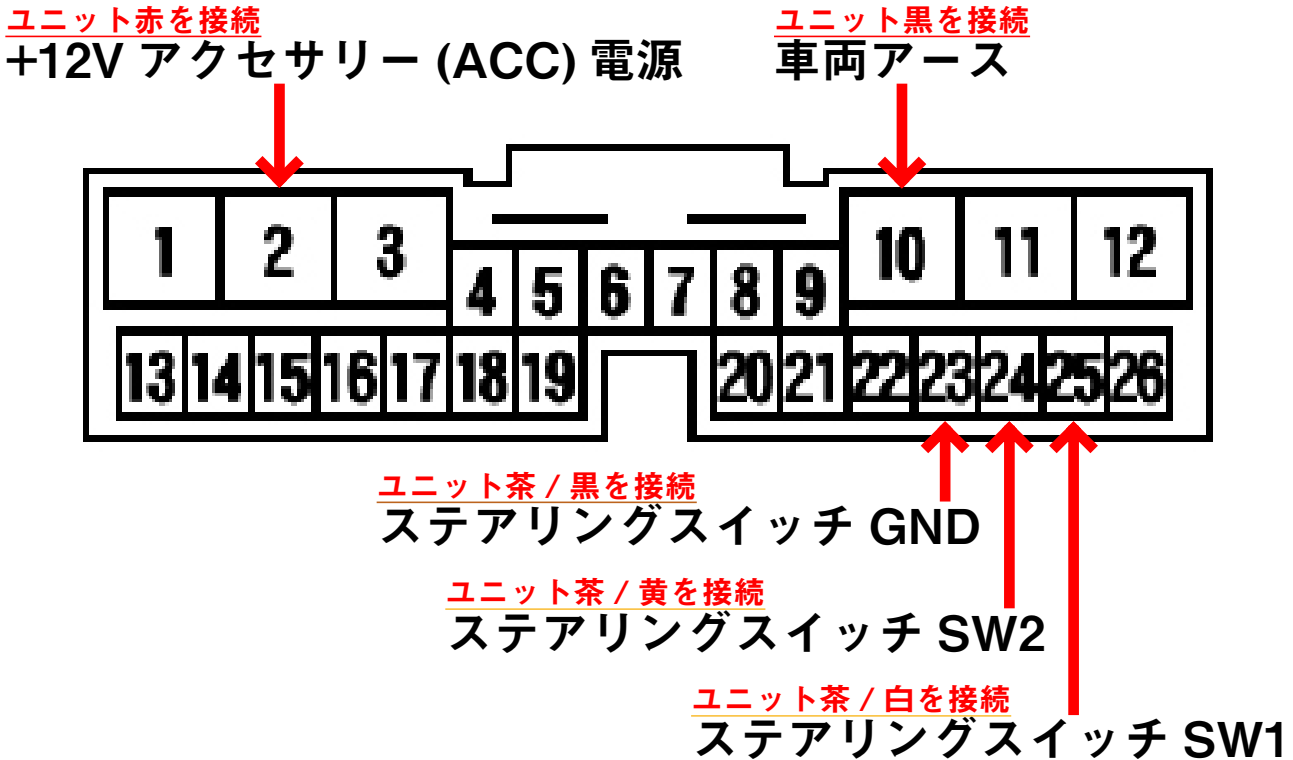
本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー（ACC）電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	21 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	22 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	23 番 ステアリングスイッチ GND

※車両側に配線が無い場合は接続不要

トヨタ 26 極コネクタピン配置図

■ 26 極コネクタ採用車（SAI など）では、下記の様に接続します
 ※オーディオコネクタを差し込み側から見た図です



- ※ ACC 電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続するか、26 極コネクタの 2 番へ接続してください。
- ※ アース線（黒）はカーナビ／カーオーディオの金属部ねじに共締めしてもかまいません。
- ※ アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しない場合があります。動作確認の際はご注意ください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	2 番 +12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	10 番 車両アース
茶 / 白	⇒	25 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	24 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	23 番 ステアリングスイッチ GND

トヨタ補助アンプ搭載車での配線変更方法

b Bのウーハー搭載モデルや、ノア／ヴォクシーの9スピーカーモデル等、外部アンプを搭載しているモデルでは、社外ナビ／オーディオに交換するとウーハーやドアスピーカーが鳴らなくなる場合があります。

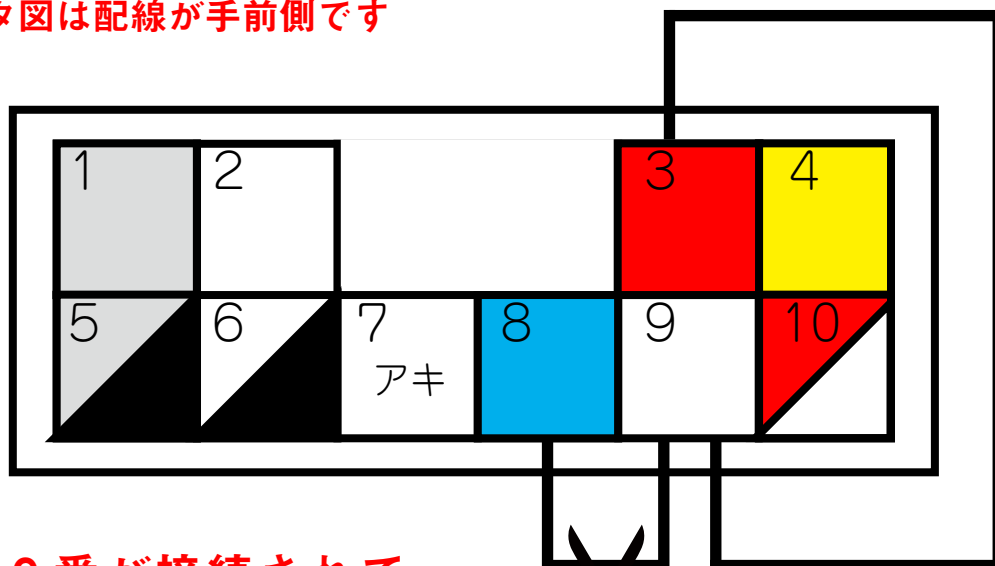
これは、社外ナビ／オーディオハーネスでアンプの電源（10極コネクタ9番）が正しく接続されていないためです。下記のように加工を行い、9番端子をACC電源に接続するとアンプ電源がONになり、問題が解消します。

■加工方法

1. 社外ナビ／オーディオ変換ハーネス（10P、6P変換ハーネス）の10極側を確認し、配線の色が下記コネクタ図の通りであることを確認します。
2. **8番と9番がループ線で接続されている場合は、切断します（重要）。**
3. 8番にカーナビ／オーディオのアンテナリモートへ接続されているかを確認します。違っていれば修正します。
4. 9番と3番を短絡し、9番にACC電源が入るように加工します。
9番がアキ端子になっている場合は、車両側を加工してください。

トヨタ車用オーディオハーネス（10極）

※コネクタ図は配線が手前側です



8番と9番が接続されていれば必ず切断すること

9番と3番を接続する

LEDの設置位置は十分ご検討ください

本ユニットは黒 / 黒灰コード先にある「赤外線 LED」部から赤外線リモコンと同じ「光」信号を出力し、カーナビ / カーオーディオを操作しています。赤外線 LED は視野角が狭く、ご家庭でテレビのリモコンを操作するときの様に、操作の対象となる機器に向けないと動作しなかったり反応が鈍くなったりしますので、**設置位置 / 角度は十分検討してください。**

MEMO

※赤外線 LED が出力している光は目に見えません。カメラには映りませんので、実際に視野角を目視で確認するには、デジカメか携帯電話のカメラの液晶ファインダーで確認してください。

※赤外線は反射する時に大きく減衰します。設置位置は次のポイントに注意してください。

1. 操作の対象となる機器の間に遮蔽物^{しゃへい}が無いこと

2. なるべく直接光で操作できる設置を選択すること

■カーナビ横の隙間を埋めるパネル等、操作の対象となる機器が極近くにある場合は反射光や側光でも操作可能です。

※パナソニック社製のナビを除く

3. 添付の LED 固定部品を使用すると、LED の頭部が固定部品に少し埋まるため指向特性が狭くなりますので、ご注意ください

○取付け位置の例 1 : ナビの隙間を埋めるサイドパネル (トヨタ車)

○取付け位置の例 2 : 上部ルームランプ (マップランプ) に埋め込み

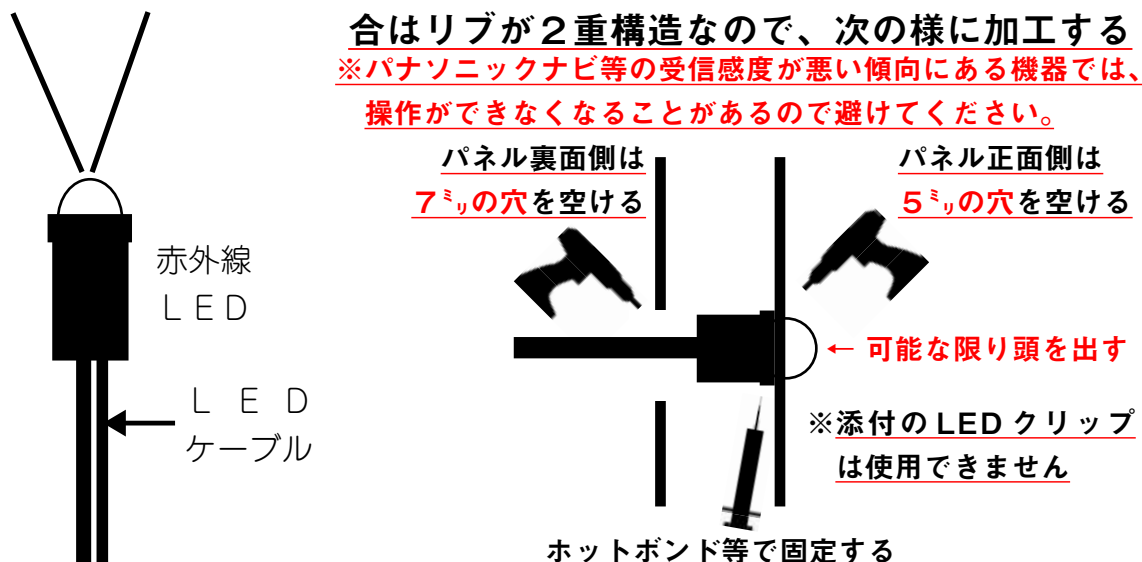
×インパネ部のスイッチブランク ⇒ 場合により操作できない

×ハンドルコラムカバー部 ⇒ 腕等により光信号が遮光される

指向特性は約 30 度です **カーナビ脇のスペーサーに LED を固定する場合**

合はリブが 2 重構造なので、次の様に加工する

※パナソニックナビ等の受信感度が悪い傾向にある機器では、操作ができなくなることがあるので避けてください。



設置後の確認

- ◇ユニット本体の配線が終わったら、全ての配線が正しく接続されていることを確認してください。確認したらキーを差し込み、**ステアリングスイッチを押さずにACC電源をON**にします。このとき、本体基板上のLEDが点滅⇒点灯することを確認してください。
- ※ステアリングスイッチをなにも押さずにACC電源をONにすると、接続されている車種を判定するユニットがあります。**設置後に最初にACCをONにする際は、ステアリングスイッチを押さないでください。**
- ◇次にステアリングスイッチを押します。押したときに本体から「ピッ」という短いブープ音が鳴ることを確認してください（同時に本体基板上のLEDが高速点滅します）。
- ◇続いて初期設定を行います。ユニット本体は**初期設定が完了するまでは手元に引き出して**ください。
- ※本体内蔵のプリセットデータを使用して初期設定を行う場合は、ユニット本体を隠れた場所に設置しても構いません。
- ※設定内容をたびたび変更する可能性がある場合は、ユニット本体を「いつでも見える場所」や、「容易に引き出せる場所」に設置してください。
- ◇初期設定が終わったら、ユニット本体をカーナビ裏の配線の束等にビニールテープ等で固定してください。ビニールテープ等をあまり強く巻きつけたり、カーナビ本体と干渉する位置取り付けたりしないでください。ユニット内部の部品が破損したり変形してショートする危険があります。
- ◇赤外線LED部はカーナビのリモコン受光部近くに受光部へ向けて設置します。赤外線LEDがカーナビの方向に向いていれば、2m程度離れていても操作可能です（カーナビの機種によっては受信感度が悪く、あまり距離をとれない場合もあります）。
- ※赤外線LEDは指向性が高い性質があります。真正面以外では信号が大きく減衰しますので、**なるべくカーナビへ向けた状態で設置してください。**

MEMO

※赤外線LED部の熱収縮チューブ部分は無理な力をかけたり、大きく曲げたりしないでください。赤外線LED内部が断線し、故障の原因となります。

カーナビ／カーオーディオのリモコンを使用した設定方法

ステアリングスイッチ1ボタンずつ、全てのボタンに学習を行います。

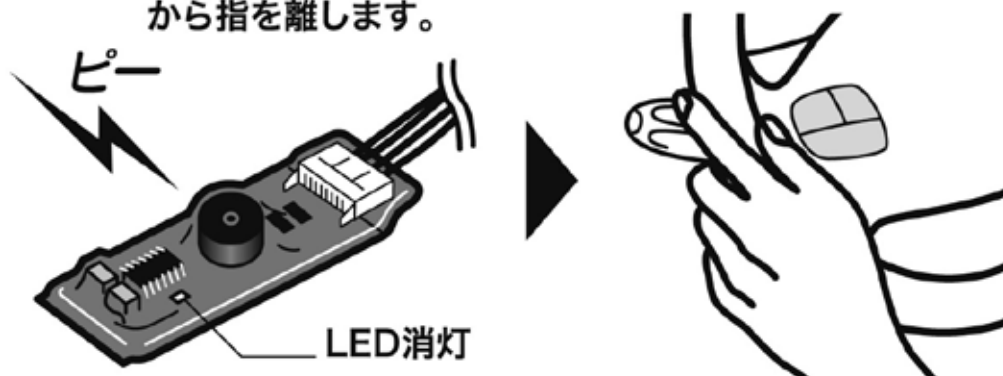
1

ステアリングスイッチの「学習させたいボタン」を押しながらキーをACCへ廻します(プッシュ式の場合はブレーキを踏まずにボタンを押します)。



2

ステアリングスイッチをそのまま押したままにしていると、1秒経過後に長いビープ音が1回鳴ります(LEDは消灯します)。ビープ音が鳴れば、ステアリングスイッチのボタンから指を離します。



3

ビープ音が鳴ってから10秒以内にユニット本体の受光部(基板上的配線が出ている側とは反対側に搭載されています)へ学習させたいカーナビの赤外線リモコンを向けて、学習させたいボタンを押します。

※長いビープ音が2回鳴り終わるまで押し続けてください。
※LEDが同時に2回点滅します。



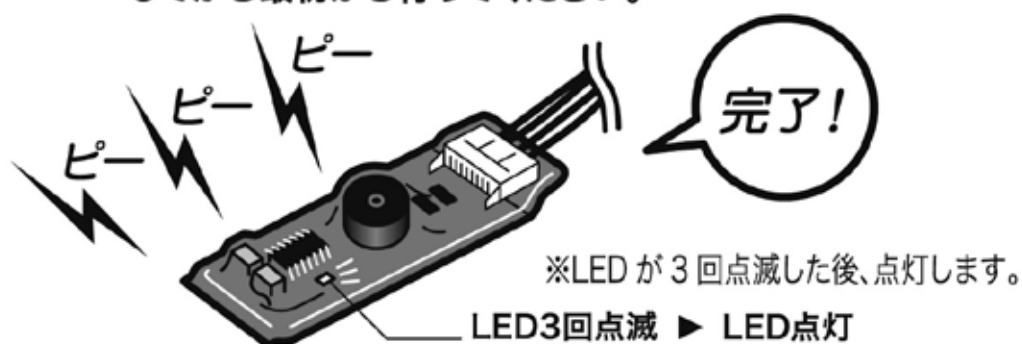
カーナビ／カーオーディオのリモコンを使用した設定方法（続き）

4 カーナビの赤外線リモコンのボタンから一旦指を離し、再度同じボタン（カーナビの赤外線リモコンのボタン）を押します。

※長いピーブ音が3回鳴りおわるまで押し続けてください。



5 以上で学習は完了です。学習はステアリングスイッチの全ボタンに対し、1つずつ行う必要があります。他のボタンを学習させたい場合はキーを一旦OFFにしてから最初から行ってください。



◇**学習が終了したら赤外線LEDをカーナビに向け、ステアリングスイッチを押すとカーナビが操作できることを確認してください。**

※短いピーブ音が5回鳴った場合は学習失敗です。トラブルシューティングを参照して原因を特定してください。

※学習時にあまりユニットとリモコンを近づけないでください。ユニットとリモコンは10cm以上離して学習してください。

※**手順3でステアリングスイッチのMODE (SOURCE) ボタンを押すと**リセット設定モードに移行し、通常学習できません。このモードについては次ページを参照してください。

※手順4でリモコンのボタンを押してもピーブ音が鳴らない場合は、リモコンのボタンを一旦離し、再度同じボタンを押してください。

プリセットデータを使用した場合の設定方法

プリセット（内蔵）しているリモコンデータを呼び出しすとリモコン不要で設定が可能です。

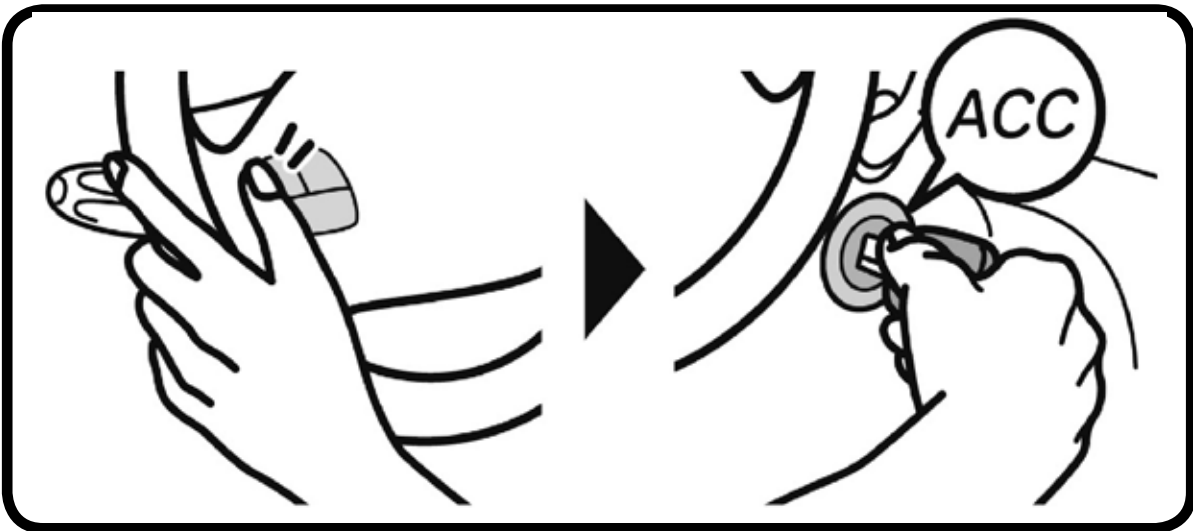
※スバル車では先にステアリングリモコンタイプの設置を行ってください

※マツダ車では MODE ボタンの代わりに MUTE ボタンでも操作できます

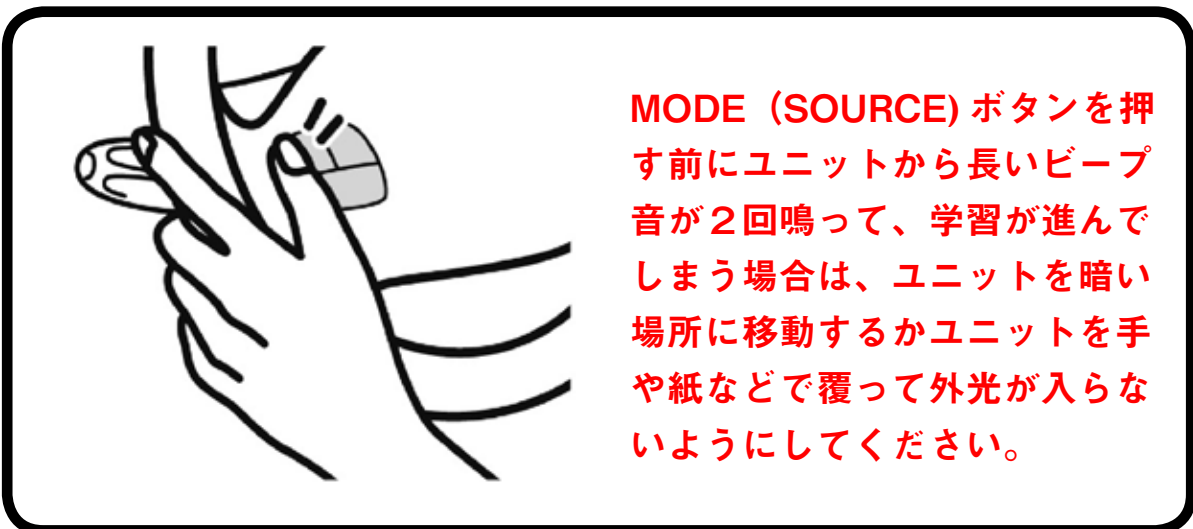
※設定するにはユニットの取り付けが正しく完了している必要があります

◇プリセットデータで初期設定を行うには次の操作を行います

1. ステアリングスイッチの **「MODE (SOURCE)」 ボタンを押しながら** キーをACCに廻す（プッシュスタート式の車種の場合はブレーキを踏まずにスタートボタンを1回押します）。長いビープ音が1回鳴ればステアリングスイッチから離す。



2. 右ページの設定表を参照してステアリングスイッチの「MODE (SOURCE)」 ボタンを指定の回数だけ押します。

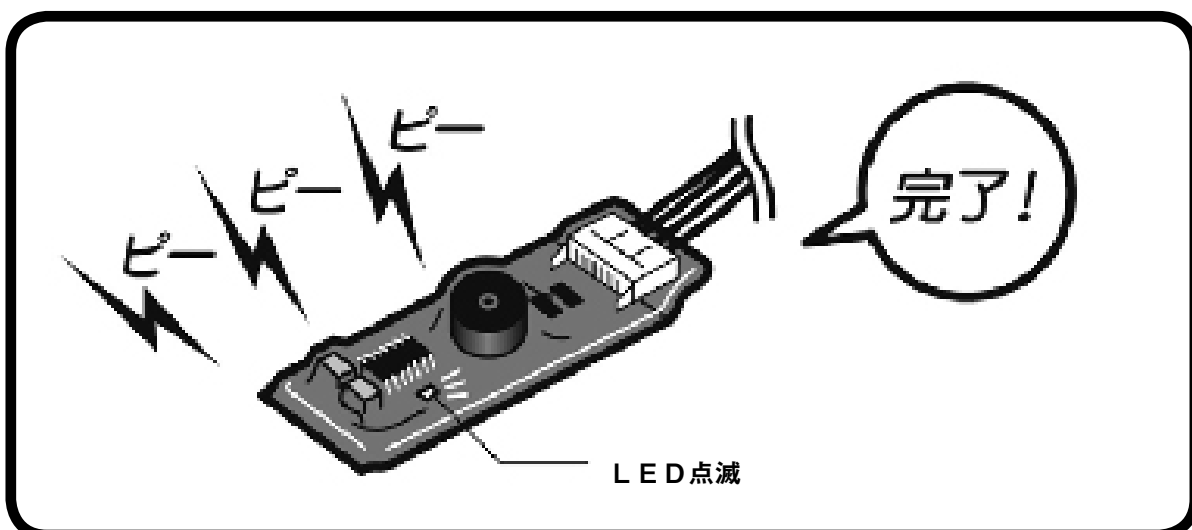


MODE (SOURCE) ボタンを押す前にユニットから長いビープ音が2回鳴って、学習が進んでしまう場合は、ユニットを暗い場所に移動するかユニットを手や紙などで覆って外光が入らないようにしてください。

3. 設定表を参照して指定の確定ボタン（「音量アップ」、「音量ダウン」、「シーク+（次の曲へ）」の何れか）を長押しします。



4. 設定が完了すると長いビープ音が3回、続けて短いビープ音が数回（設定表にある「応答」に記載の回数）鳴ります。



※完了するとステアリングスイッチの全ボタンが書き換えられます。お使いの機種を正しく選択しないと全てのボタンが使用不可となります。

◇設定表

	MODE	確 定	応答
クラリオンナビ/オーディオ	1回	音量アップ	2回
イクリップスナビ	1回	音量ダウン	3回
アルパインナビ	1回	シークプラス	4回
パナソニックナビ	2回	音量アップ	5回
パイオニアナビ A	2回	音量ダウン	6回
サンヨーナビ	2回	シークプラス	7回
ケンウッドオーディオ	3回	音量アップ	8回
パイオニアナビ B	3回	音量ダウン	9回
パイオニアオーディオ	3回	シークプラス	10回
三菱ナビ (RE-MZ50)	4回	音量アップ	11回

プリセットデータで設定されるボタン内容一覧表

	MODE	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
イクリップスカーナビ	ソース切替	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
クラリオンナビ / オーディオ	ソース切替	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
アルパイン RUE-4208	ソース切替	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
パイオニアカーナビ A	ソース切替	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
パナソニックカーナビ	AUDIO	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
サンヨー NVP-RDTV1	AUDIO	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
ケンウッド RC527J	ソース切替	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
パイオニアカーナビ B	ソース切替	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
パイオニア CD-R500	ソース切替	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
三菱 RE-MZ50	MODE	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-

	VOICE	オンフック	オフフック
イクリップスカーナビ	POWER	オンフック	オフフック
クラリオンナビ / オーディオ	MUTE	戻る	ビュー
アルパイン RUE-4208	MUTE	オンフック	オフフック
パイオニアカーナビ A	C(カスタム)	NAVI	AV
パナソニックカーナビ	MENU	戻る	発話
サンヨー NVP-RDTV1	電源	戻る	MENU
ケンウッド RC527J	ATT	AUDIO	*
パイオニアカーナビ B	C(カスタム)	NAVI	AV
パイオニア CD-R500	MUTE	AUDIO	FUNCTION
三菱 RE-MZ50	AVON/OFF	TEL	TEL

MEMO

- ※ MODE ボタンは車種により SOURCE と表示されています。
- ※カーナビ/カーオーディオの機種により全ての操作ができない場合や、絵柄と実際の動作が異なる場合があります。
- ※パイオニアナビの C (カスタム) ボタンはナビ側で動作を設定変更できます
- ※車両側にボタンが用意されていない場合は操作できません。

機能設定を行う

必要に応じて本体の動作設定変更することができます。
操作方法はプリセットデータ設定と同じとなり、MODE ボタンを押す回数と確定ボタンの種類が下記の通りとなります。

※スバル車では先にステアリングリモコンタイプの設置を行ってください

※設定するにはユニットの取り付けが正しく完了している必要があります

◆ MODE ボタンを5回押す

- ・ **音量アップボタン** 本体機能の設定を行う
⇒ ステアリングスイッチ操作時のクリック音をONにする
- ・ **音量ダウンボタン** 本体機能の設定を行う
⇒ ステアリングスイッチ操作時のクリック音をOFFにする

■ ON設定になった場合
ピピピ・ピーピーピー

■ OFF 設定になった場合
ピピ・ピーピーピー

◆ MODE ボタンを6回押す

- ・ **音量アップボタン** 本体機能の設定を行う
⇒ 赤外線 LED 変調周波数を「高」にする
- ・ **音量ダウンボタン** 本体機能の設定を行う
⇒ 赤外線 LED 変調周波数を「中」にする ※ 初期状態
- ・ **シークプラスボタン** 本体機能の設定を行う
⇒ 赤外線 LED 変調周波数を「低」にする

MEMO

※プリセットデータでメーカー設定を行うと赤外線 LED 変調周波数は「中」に設定されます。

トラブルシューティング

学習操作をしてもビープ音が鳴らない（全く動作しない）

1. キーを廻してACC電源をONにした時に本体基板上のLEDは点滅⇒点灯していますか？していなければ電源の接続を確認してください。
2. ビープ音の音量は小さめに設定してありますので、聞こえにくい場合があります。オーディオはOFFにするなど、周囲の音を小さくしてください。
3. 一部の社外オーディオ接続用ハーネスで、ステアリングスイッチ配線をアースに落としている製品がございます。アースされている場合は、その配線を切断してください。

ステアリングスイッチの一部のみしか学習できない

1. 接触不良でスイッチを誤認識している可能性があります。茶/白・茶/黄・茶/黒配線の接触不良を確認してください。
2. 学習リモコンユニット本体の周りにコード類が沢山ある場合、光信号が乱反射して正しく学習できないことがあります。ユニット本体を手元に引き出して、学習作業を行ってみてください。

学習が失敗する（短い音が5回鳴って失敗する場合）

1. 学習リモコンユニット本体が目視できない程奥に設置されていませんか？本体を手元に取り出して、学習作業を行ってみてください。
2. 学習時にカーナビの赤外線リモコンを向ける先を間違っていないか？
カーナビの赤外線リモコンはユニット本体に向けて操作してください。
もし、ユニット本体の設置が完了しており、目視できない位置にある場合は再度取り出してから学習してください。なお、白/黒コード先についている**豆状の部品が赤外線LED**です。
3. 学習作業を行う際に時間がかかっていませんか？学習操作をして長いビープ音が鳴ってから10秒以内に赤外線リモコンを操作しないと、ビープ音が5回鳴って学習モードが終了します。その場合は10秒以内に学習させるようにしてください。
4. 学習手順を間違っていないか？学習時に学習させたい赤外線リモコンのボタンを押すタイミングで間違えてステアリングスイッチのボタンを押すミスがよくあります。押す手順は「**ステアリングスイッチ**」⇒「**カーナビのリモコン**」⇒「**カーナビのリモコン**」です。

次ページにつづく

学習が失敗する（リモコンのボタンを押しても長いビープ音が鳴らない場合）

1. LEDのフットランプ等が近くにありませんか？
LEDのランプはパルス制御で光量制御しているものが多く、赤外線リモコンと干渉します。学習時にはLEDのランプ類は消灯しておいてください。
2. カーナビの画面の光が直接ユニット本体にあたっていますか？
一部のカーナビの液晶画面に使用されているバックライトが学習作業時の赤外線信号に悪影響を及ぼすことが確認されています。液晶画面の光の影になるような位置にユニット本体を置き、再度学習作業を行ってください。
3. すべて確認しても学習が失敗するときはそのリモコンを学習することができない可能性があります。ソニーのハイバンドリモコンは学習できません。

学習が失敗する（正常に学習が完了するが、機器を操作できない場合）

1. 学習リモコンユニット本体の周りにコード類が多数ありませんか？
コード類の奥にユニット本体を設置すると、赤外線リモコンの光が乱反射して正常な信号を学習できません。学習作業を行うときは、ユニット本体を手元に取り出してから行ってください。

※どのように処置をおこなっても反応が鈍い場合は、本体設定ページ6にある赤外線LED変調周波数の変更をお試しください。
2. 学習手順を間違っていないですか？
一部の車種用を除き、ユニットには復元機能を搭載しています。学習手順を間違えると復元機能が働き、全ボタンの学習内容を書き換えます。正しい学習操作手順は「ステアリングスイッチ」⇒「カーナビの赤外線リモコン」⇒「カーナビの赤外線リモコン」です。
3. 正しい操作をしていますか（プリセットで設定を行っている場合）？
設定表をよく見て正しい操作を行ってください。同じメーカーでもナビ・オーディオで違う場合や、ナビでも数種類の選択ができる場合があります。同じメーカーの他にある設定もお試しください。

次ページにつづく

クラリオン（アゼスト）製カーナビでオーディオ系の操作ができない

1. カーナビの設定で「2ZONE」機能がONになっていないか確認してください。「2ZONE」機能があるクラリオン(アゼスト)社製カーナビについて、この機能がONになっているとオーディオ系のリモコン信号を受け付けません。下記操作を行って「2ZONE」機能をOFFにしてください。

■ AV 切替ボタンでオーディオ画面を表示 → ナビの「SOURCE」ボタン → 右上の「2ZONE」キー → 左下の「ON」をタッチして、2ZONE 機能をOFFにしてください。（チェックをはずしてください）

※ MAX950HD および MAX850HD の場合、SOURCE 画面左下に「2ZONE」キーがありますので、チェックをはずしてください。

ステアリングスイッチでカーナビを操作しても反応が鈍い

1. 日中に反応が鈍くなる場合は、赤外線LEDの設置位置と角度を再検討してください。
2. いつも反応が鈍い場合は赤外線LEDの設置位置と角度を再検討してください。赤外線LEDを手で持って直接カーナビに向けてステアリングスイッチを操作しても反応が鈍い場合は、リモコン信号の学習に失敗しています。コード類の奥にユニット本体を設置すると、学習時に赤外線リモコンの光が乱反射して正常な信号を学習できません。学習作業を行うときは、ユニット本体を手元に取り出してから行ってください。

※どのように処置をおこなっても反応が鈍い場合は、本体設定ページ6にある赤外線LED 変調周波数の変更をお試しください。

カーナビ／カーオーディオの電源がOFFの時しか動作しない

1. アース線の接続が間違っている可能性があります。トヨタ車の場合は、ハーネスのアースが車両側で接続されていない場合もありますので、カーナビ／カーオーディオの金属部分でのアースを行うか、ボデーアースへ接続してください。

■カーナビ／カーオーディオの金属部分でアースを取った場合は、カーナビ／カーオーディオを車両へねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しないのでご注意ください。

本書はお買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合に、次に記載する内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

<無料保証規定>

1. 正常な使用状態にも関わらず発生した故障は無料修理させていただきます。
2. 製品の故障による次の損害は保証の対象外となります。
 - ・製品の故障により発生した作業工賃や災害
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理とさせていただきます。
 - ・使用上の誤りや、不当な修理／改造による故障・損傷
 - ・火災・水害・落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害などによる故障・損傷
 - ・本書の添付がない場合、及び本書にお買い上げ店とお買い上げ日の記入がない場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行致しません

品番	GAL-TAF03	
保証期間	お買い上げ日から 3 年間	
お買い上げ日	※納品書が購入証明となりますので、本書と一緒に大切に保管してください。	
お客様	ご住所	_____
	お名前	_____ 様
	電話 ()	_____
販売店	住所・店名	_____
	電話 ()	_____

株式会社 ガレイラ

<http://www.galleyra.co.jp>

〒545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南3丁目7-11 電話 06-6131-6300